



おばなざわ 市議会だより

平成23年度一般会計補正予算など21議案を可決



「ほたるの里郷土資料館」のオープン
(旧牛房野小学校の活用)

6月定例会 8月臨時会	補正予算・議案の審議	2	ページ
	一般質問	4	ページ
	可決された議案	7	ページ
	新しい議会の構成	9	ページ
	新議長・副議長就任の挨拶／広域組合議会／あとがき	10	ページ
	請願の審査結果	8	ページ

新議員の議会構成決まる！(8月臨時会) 東日本大震災被害等対策特別委員会の設置

6月定例会

一般会計補正予算 8,458万円

8月臨時会

一般会計補正予算 6,146万円

予算総額 1,013,164万円

平成23年6月定例会が6月1日から6月9日までの9日間の会期で開催されました。

6月1日に加藤市長より市政概況報告があり、平成22年度一般会計補正予算(第10号)など専決処分の承認8案件、平成23年度一般会計補正予算(第2号)など補正予算3案件及び、一般議案5案件、議案案(第2号)1案件の計17案件が上程され、提案理由の説明がありました。

請願9案件は各常任委員会に付託され、慎重審査されました。6月3日、6日には一般質問が行われ、6名の議員が市政全般について市当局の考えを質しました。

最終日となる9日には本会議が開催され、当局より追加議案として消防ポンプ自動車購入契約の締結について、及び、意見書提出などの議案案3案件が追加提案され、審議の結果、本定例会に上程されたすべての議案はいずれも原案通り可決されました。

6月定例会

補正予算・議案の審議

一般会計2億100万円を補正

質 国会などの陳情で特別交付金の増額により一般会計に2億100万円を補正できましたが、財政調整基金積立金に1億5千万円、新鶴子ダム受益者負担償還対策基金積立金に5千万円を計上していますが受益者にとってどのぐらいの負担軽減になるのですか。

答 ダムの償還完了年度が平成

27年度ですが、この時期あたりに市の財政が大変になっていくことから、この基金は一般会計においておおいにその成果が出てくるようになります。



道路災害(田沢地内)

質 豪雪対策費の支払いはどのようになっていますか。

答 除雪費の22年度分は3月31日までに支払済です。

質 財調積立金と新鶴子ダム基金の残高はどのくらいですか。

答 財調積立金は6億1千7百万円、新鶴子ダム基金は1億4千万円ほどです。



道路災害(芦沢地内)

災害復旧にスピード上げて

質 12月22日の大雨災害と3月11日と4月7日の東日本大震災による尾花沢市の災害復旧が遅れが生じませんでしたか。

質 農林・建設部門で数百件の災害がありました。春の農作業の遅れと連休が重なり、復旧工事が遅れたのではないですか。

答 対応期間が短く広報などでお知らせできませんでしたが、関係課の職員は連休・土日を返上し復旧の対応に当たりました。



6月定例会

一般質問



山田 輝 議員

地震・身体障害者協会・加藤市長の政治理念・哲学

質 4月7日の地震で、被害が大きかった芦沢地区に対して、「リフォーム助成制度を市外業者でも使えるようにする」・「被災された方が安全か、1軒1軒専門家に見てもらおう」・「税金の減免」・「義援金を集める」など何かできませんか。

市長 この度の大震災で被害に遭われた多くの方々に心からお見舞い申し上げます。本市で受け付けた義援金は、5月9日現在、総額1千243万4千848円となっており、皆様の善意に衷心より感謝申し上げます。義援金については日本赤十字社、友好都市の岩沼市などへ届けています。4月7日の余震被害の被災者に対する支援対策として、瓦礫処理料の減免や住宅リフォーム補助の活用、無料入浴券の発行、罹災証明書の発行、さらには、市税減免等可能な支援策を講じており、これらの行政支援で対応したいと考えています。

質 身体障害者協会の会員数が減少傾向にあり、勧誘を行うため、障害者名簿は開示できないのですか。



市長 障害者という極めて個人のプライバシーに関する情報であり、他人に知られたくない方もいらっしゃるなどから開示できませんが、手帳交付の際に、協会の紹介パンフレットをお渡ししています。

質 尾花沢の夢や展望、そして加藤市長の政治理念・哲学をお聞かせください。

市長 尾花沢を愛し、これからも住み続けていくこと、そして次世代の人達も私たちと同様に喜んでここに住み続けてもらえる尾花沢を築くことです。過去から未来へとつなぐ、今を生きる私たちがなすべきことは何かを見極め、丹生川が清らかに流れ、山々は緑に輝き、子どもたちは大地の上で楽しく遊び、家々からは笑い声が聞こえる、このようないきいきとした地域社会を思い描いています。



加藤克彦 議員

二十歳の記念に振袖で参加できる成人式の実施を

質 本市の再生可能な自然エネルギー・小水力発電・風力発電・太陽光発電の今後の取組みと、平成24年度から具体的な再生可能自然エネルギー支援策はどうですか。

市長 昨年度「公共施設省エネ・クリーン化推進事業」の採択を受けて、徳良湖温泉花笠の湯に太陽光発電装置を設置しました。今年度1年をかけて四季を通じた発電状況など、尾花沢市の自然環境での太陽光発電を検証していくこととしています。自然エネルギーの供給や高額な設備投資資金など、まだまだ山積する課題がありますが、尾花沢市に合った自然エネルギー政策を推し進めていきます。

質 お盆の成人式を、ゴールデンウィークに変更したり、屋内での成人式を実施して、振袖で参加できる成人式を考えてはどうですか。

市長 今年度については、式典は屋内での開催を考えていますが、はたちのつどい実行委員会が場所・内容について十分検討していきます。



質 経営体育成交付金が不採択になり、意欲のある農業者たちに大きなダメージを与えました。今後のやる気のある農業者支援策を考えていますか。

市長 経営体育成支援事業の不採択の大きな要因は、農機具の更新などのポイントが低い事業の申請が多かったことに対し、ポイントが高く設定されている新規就農者の申請が少なくなかったことや、農業の6次産業化に向けた申請がなかったことが考えられます。平成24年度に向けた対策として、経営体育成支援事業に申請する事業は、ポイントの高いものを厳選せざるをえないものと考えています。市の単独事業の「新やる気のある農業者等育成事業」で支援していきたいと考えています。



6月定例会

質 問



菅野修一 議員

本市の農産物を 風評被害からどう守るのか

質 今般の大震災を受け、初動体制が重要視されました。危機管理として、市民の生命や身体を守るため、今後は、各集落自治会にどう指導していきますか。

市長 本市の地域防災計画に基づき、各地区の避難場所・施設が指定されて隣組協同の精神のもと、初動体制について機会をとらえて指導していきます。

質 鶴子ダムが決壊も想定に入られ、丹生川流域を中心としたハザードマップの整備が必要だと思いますがどうですか。

市長 鶴子ダムは、構造上の強度は極めて高く、その安全性と耐震性が実証されています。万が一の決壊を想定したハザードマップの整備は、県で24年度に策定してもらうよう関係機関と協議をしています。

質 福島第1原発事故で放射能拡散が心配されていますが、特に児童生徒への安全対策を備えていますか。

市長 児童生徒だけの問題ではなく、市民全体の問題です。県に対し市民の不安を取り除く

充実した監視体制を要望していきます。

質 きゅうりやスイカ等の出荷時期が間もないですが、風評被害から本市の米をはじめとする農産物をどう守っていきますか。

市長 本市では、小松菜・牛肉の検査が行われ、放射性セシウムが不検出との通知を受けました。今後本市で出荷が本格化する品目について検査を実施していく予定です。消費者の方に、本市の農畜産物の安全性を関係機関と協力しながらアピールしていきます。

質 徳良湖温泉西側周辺の山を仮称「はながさ山」として整備してはどうですか。市の花つじが咲き誇る景勝地を市民のボランティアで造成していく計画はどうですか。

市長 これまで、市民手造り公園事業や「徳良湖100年委員会」では、桜やつつじを植栽し、散策路の整備を行ってきました。今後、イベント等を通じて広く市民に親しまれるよう努めると共に、市民の力を借りながら整備を進めていく予定です。



石塚ミツ子 議員

国保税値上げに反対

質 生活が苦しい人が増えていきます。3年おき4年おき値上げがあり、重税感のある国保税、上げ幅88.3%、約3千万円あれば値上げしなくても済みませ。一般会計より繰り入れて値上げをしないしてほしいですが、どうですか。

市長 一般会計からの繰入れは、国保加入者以外の方々の理解が必要で。国保運営は全国的に厳しい財政状況であり、国保財政の健全化に向け、国に必要な財政措置を要望し、国民皆保険制度を守るため、制度の充実強化を働きかけていきます。

質 地域防災の周知徹底を図るべきではないですか。避難場所や給水の広報と給水の仕方をお年寄りでも利用できるように改善してはどうですか。防災無線、公共施設の耐震化はどのようになっていますか。

市長 地域防災に関する啓蒙については、今回の震災の教訓を受け、避難場所や給水活動の市民への周知を徹底していきます。防災無線については、現在の通信機能を強化しながら今後検討

していきたい。公共施設の耐震化状況は、主な避難場所となる文教施設の耐震工事が順次進んでおり、今後計画的に耐震化率を高めていきます。

質 家屋の耐震診断・耐震補強を国・県の補助制度を活用し、市の制度化を図る考えはないですか。

市長 今年度から住宅リフォーム緊急支援事業がスタートしましたが、新たな制度の創設については、防災という観点も含め、県や国とも連携し検討していきます。

質 身の安全と農作物の風評被害を防ぐために、放射能測定をすべきですが、測定器はありますか。また、測定値を公表する考えはないですか。

市長 放射能による市民生活への影響や農作物の風評被害等は、深刻な問題です。この抑止は、適宜正確な数値を測定・公表し、安全安心を与えることです。測定器は学校教材用の簡易機器があります。精度と正確性に欠けるものです。現在、県を中心とした測定を実施しています。



6月定例会

一般質問



菅根光雄 議員

災害に強いまちづくりを

質 平成14年に策定された「地域防災計画」は、このたびの東日本大震災の際に機能を十分に果たしましたか。

市長 この度の震災では、指示伝達や具体的行動の内容が十分でないところがありました。今後、検証を加えながら対応していきます。

質 災害対策本部に連合区長会や議会を組み入れ、地域との連携で被害状況の早期把握と迅速な対応をとるべきではないのですか。同時に地区公民館を災害時に地区の拠点とし、本部との連携が密に図れるようすべきではないですか。

市長 組織は、より効果的な運営となるよう検討していきます。また、地区単位の拠点となる地区公民館は、より防災機能を高め役割を明確にし、連携を図っていきます。

質 夜の災害時に職員は、市役所に集結するよりも地区公民館に集結し対応をとるべきではないですか。

市長 初動マニュアルに状況次第では参集することになってい

ますが、指揮命令や情報の一元化を図る中で、適宜場面に応じ対応していきたい。

質 非常食と毛布の備蓄や救済物資義援金の受付等も行える防災センターを、本町の中に設置すべきではないですか。

市長 今回の震災で防災センターの必要性を強く感じています。災害備蓄を含め地域の方々と防災活動の核となる施設は、消防署の機能強化を図りながら、新庁舎建設に盛り込んでいきたいと考えています。

質 市内のハザードマップの作成を急ぐ必要はないですか。

市長 災害の危険区域や非難場所等を示した防災マップ災害予想区域図の整備は、現在、一部の地域で整備されています。市内全域にわたり、その整備が急務であり、機会を捉え地域と連携していきたい。

質 常備消防と予備消防の充実を図るべきではないですか。

市長 数年後の大量退職を見据え見直しを図り、予備消防については、現在48名任命して人員を確保しています。



菅原光政 議員

尾花沢の 限らない発展のために

質 健全財政を堅持するため、公会計に「複式簿記」「発生主義」を導入し、財政の「見える化」を推進し、さらにムダ削減や業務の改善につながる行政コストの「見える化」を推進することにより、行財政の効果的運営がなされるものと思いますが、どうですか。

市長 従来の地方自治体の会計制度は、自治体の財務状況が把握しづらく、住民にとって分かりにくいという課題があったことから、本市では、平成22年度決算から、公会計制度「総務省方式モデル」を導入します。

質 地域主権改革3法が成立し、地域の自由な発想のもと、自由な運営が可能となります。市長の主張する「元気な尾花沢」づくりを進めるための、打つてつきの3法です。その対処は何ですか。

市長 地域住民自らが地域課題の解決や魅力ある地域づくりが進められるよう、元気な地域づくり交付金制度や地域支援制度を創設し、地域力の向上を目指します。

質 国際森林年を契機として、豊富な山林資源を有する本市の対応策はどうですか。

市長 戦後造林した山林が成熟期を迎えつつあり、国産材の利用拡大が課題となっています。本市では、こうした情勢を踏まえ、今年度森林整備計画を見直し、森林施業の集約化による低コスト化を図っていききたいと考えています。

質 新しい福祉社会の建設、そしてシステム作りこそが、誰もが安心して暮らせる社会の構築につながるものと思います。第6次総合振興計画の中で、どのように対応しますか。

市長 福祉関係の推進については、基本目標を「互いに支えあう人にやさしい健康・福祉のまちづくり」とし、市民ニーズを的確に把握し、サービス向上に向けて対応していきます。





可決された議案

6月定例会

- 承第2号 平成22年度尾花沢市一般会計補正予算(第10号)の専決処分の承認について
承第3号 平成22年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)の専決処分の承認について
承第4号 平成22年度尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2号)の専決処分の承認について
承第5号 平成22年度尾花沢市一般会計補正予算(第11号)の専決処分の承認について
承第6号 平成22年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算(第6号)の専決処分の承認について
承第7号 平成22年度尾花沢市簡易水道特別会計補正予算(第5号)の専決処分の承認について
承第8号 尾花沢市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について
承第9号 平成23年度尾花沢市一般会計補正予算(第1号)の専決処分の承認について
議第27号 平成23年度尾花沢市一般会計補正予算(第2号)
議第28号 平成23年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
議第29号 平成23年度尾花沢市簡易水道特別会計補正予算(第1号)
議第30号 尾花沢市職員の特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例の制定について
議第31号 尾花沢市税条例の一部を改正する条例の制定について
議第32号 尾花沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
議第33号 尾花沢市徳良湖周辺施設等設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第34号 市道路線の認定及び廃止について
議第35号 消防ポンプ自動車購入契約の締結について

議 会 案

- 議会案第2号 尾花沢市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について
議会案第3号 議員派遣について
議会案第4号 脳脊髄液減少症の医療に関する意見書の提出について
議会案第5号 脳脊髄液減少症の診断及び治療が可能な医療機関の公開に関する意見書の提出について

8月臨時会

- 議第36号 平成23年度尾花沢市一般会計補正予算(第3号)
議第37号 平成23年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
議第38号 尾花沢市監査委員の選任について

議 会 案

- 議会案第6号 尾花沢市農業委員会委員の推薦について
議会案第7号 尾花沢市都市計画審議会委員の推薦について
議会案第8号 特別委員会の設置について



請願の審査結果

採択された請願

平成23年請願第11号

◎学校統合で廃校になる校舎を
利用しての地域づくりに関する
請願

福原地区区長会長

菅野 一磨

外4名

平成23年請願第4号

◎脳脊髄液減少症（低髄液圧症
候群、低脊髄圧症候群、外傷
性頸部症候群、外傷性髄液漏
れ等）の医療に関する請願

新庄市本町1-7

脳脊髄液減少症友の会

代表 荒川ミキ子

平成23年請願第7号

◎ニュータウン東光台地内の流
雪溝整備促進に関する請願

新町東区長

佐藤 好政

新町第3区長

佐々木清次

若葉町区長

小林 秀也

平成23年請願第10号

◎和合地区流雪溝上流部接続導
水路の早期整備についての請
願

和合区長

菅野 誠治

平成22年請願第23号

◎国道347号線バイパス工事に伴
う新町第5地区主要県道最上

線の取付け道路建設工事に関
する請願

新町第5区長 奥田 文雄

継続審査

平成22年請願第15号

◎永住外国人への地方参政権付
与に反対することに関する請
願

日本会議山形

会長 梅津伊兵衛

平成22年請願第16号

◎外国人地方参政権付与法案に
反対することに関する請願

日本会議山形

会長 梅津伊兵衛

平成23年請願第8号

◎ニュータウン東光台と市道上
町長根線結ぶ市道新設に関す
る請願

新町東区長

佐藤 好政

新町第3区長

佐々木清次

若葉町区長

小林 秀也

平成23年請願第9号

◎シルバー人材センターに対す
る国の補助金確保を求める意
見書の提出についての請願

(社)尾花沢市シルバー人材セ
ンター
理事長 渡辺 正平

可決された意見書

◎脳脊髄液減少症の医療に関す
る意見書

脳脊髄液減少症（低髄液圧症
候群・低脊髄圧症候群・外傷性
頸部症候群・外傷性髄液漏等）
は、専門医によって診断される
病名に違いはありますが、いず
れも脊髄液が減ることによつ
て、頭痛、めまい、悪心、視力

障害、耳鳴り等、様々な症状が
現れるという特徴を持っていま
す。髄液の漏れは日常生活での
転倒や外傷によつて起こりま
す。交通事故やスポーツ外傷な
どが原因とされることが近年注
目されるようになっていきます。

また長年不登校となっていた児
童生徒の中に慢性的な頭痛や倦
怠感を抱えた脳脊髄液減少症の
患者がいることがわかり、心身
の成長や学業に大きな支障をき
たすことから、平成19年5月、
文部科学省は、学校関係者や保
護者に対して適切な対応を求め
る事務連絡を行いました。

しかし、昨年、厚生労働省の
事務連絡により、低髄液圧症候
群は検査のみ保険適用とし、治
療は保険適用外とすることにな
り、医療機関では、混合診療の
問題が発生しています。

現在、この病気に苦しむ患者
と家族は、治療費、交通費、宿
泊費等の経済的負担にも苦し
み、必要な治療を受けること
ができないままの状態です。

よつて、国において、脳脊髄
液減少症の医療に関して、下記
のことを強く求めます。

1. 医療費扶助の患者も治療が
受けられるよう、治療費の保
険適用を認めること、など。

◎脳脊髄液減少症の診断及び治
療が可能な医療機関の公開に
関する意見書

山形県では、山形大に国の脳
脊髄液減少症の診断・治療法の
確立に関する研究班がありなが
ら、現在公表されている医療機
関が全国最低の1ヶ所（非公表
9ヶ所）しかなく、県立新庄病
院は診断や治療が可能でありな
がら非公表とされています。

現在、この病気に苦しむ患者
と家族は、治療費、交通費、宿
泊費等の経済的負担にも苦し
み、必要な治療を受けること
ができないままの状態です。

よつて、山形県においては、
県内で診断や治療ができるよう
公表医療機関を増やすため、調
査範囲を小児科の開業医も含
め、県内医療機関の再調査を行
い、最新情報をホームページで
公開するよう、強く求めます。





新しい議会の構成

議長 菅根 光雄
副議長 菅野 修一

7月10日執行の尾花沢市議会議員選挙で16名の新しい議員が当選されました。

議員名と役職名は次の通りです。

常任委員会 (○委員長 ○副委員長)

委員会名	所属議員名
総務文教会 常任委員	○伊藤 精一 ○石塚ミツ子 須貝 孝 大類 好彦 小関 英子 塩原未知子
市民厚生会 常任委員	○奥山 格 ○青野 隆一 鈴木 敏正 菅野 修一 加藤 克彦
産業建設会 常任委員	○五十嵐佳満 ○武田 佳久 大類 準一 菅根 光雄 星川 睦子
議会運営委員会	○加藤 克彦 ○須貝 孝 大類 準一 伊藤 精一 五十嵐佳満 大類 好彦
監査委員	須貝 孝
議会だより 編集委員会	○大類 好彦 ○塩原未知子 菅野 修一 武田 佳久 星川 睦子 青野 隆一 小関 英子

議員名簿 (年長順)

氏名	住所・電話番号
伊藤 精一	鶴子430 ☎28-2696
須貝 孝	名木沢1782-4 ☎25-2189
鈴木 敏正	上町一丁目7-14 ☎22-1668
石塚ミツ子	五十沢572-4 ☎22-2576
大類 準一	北郷553-2 ☎28-2057
武田 佳久	鶴巻田406 ☎28-2215
五十嵐佳満	若葉町三丁目21-17 ☎22-0400
菅野 修一	六沢228 ☎28-3645
菅根 光雄	北町一丁目3-3 ☎23-3031
星川 睦子	新町二丁目1-5 ☎22-0006
奥山 格	桒町四丁目3-12 ☎22-0255
青野 隆一	寺内690 ☎25-3734
加藤 克彦	丹生1712 ☎22-2860
小関 英子	桒町四丁目1-5 ☎22-2396
大類 好彦	桒町二丁目1-12 ☎22-1539
塩原未知子	横町二丁目1-28 ☎22-1330

特別委員会 (○委員長 ○副委員長)

委員会名	所属議員名
東日本大震災被害等 対策特別委員会	○大類 準一 ○星川 睦子 ほか全議員で構成

広域組合議会	議員名
尾花沢市・大石田町 環境衛生事業組合議会 議員	伊藤 精一(副議長) 石塚ミツ子 奥山 格 加藤 克彦 武田 佳久 青野 隆一 小関 英子
北村山広域行政事務 組合議会議員	大類 準一 五十嵐佳満 塩原未知子
北村山公立病院組合 議会議員	菅根 光雄 奥山 格

行政機関委員	議員名
尾花沢市都市計画 審議会委員	五十嵐佳満 鈴木 敏正 石塚ミツ子 星川 睦子 小関 英子
農業委員会委員	伊藤 精一



就任のあいさつ



議長
菅根 光雄

7月10日に執行された市議会議員選挙で新たに16名の議員が決まり、全議員が尾花沢市を良くしたい、住んで良かったといえるまちにしたいという強い気持ちでいます。そして、8月4日の臨時会において第26代議長に就任させていただきますました。職責の重さをひしひしと感じております。「市民が主役のまちづくり」が私の基本姿勢で、市民の皆様の声を大切に、議事に反映させていきます。財政的に厳しい年が続いておりますが、「市民、行政、議会による協働のまちづくり」が求められておりま



副議長
菅野 修一

去る7月10日の尾花沢市議会議員選挙を受けまして、新副議長の重任を果すこととなりましたが、一層身の引きしまる思いでいっっぱいです。

菅根議長を補佐し、円滑なる議会運営と深みのある議論展開による熟議をもって、市民に分かり易い開かれた議会を目指し、職責を

す。その一助になるよう議長として誠心誠意努力してまいります。そして、議会が市民に分かり易く身近に感じてもらえるよう頑張ります。

今年は大変な豪雪の中、春を待ちわびていましたが、東日本大震災で大きな被害を受け、市民生活にも大きな支障をきたしました。

7月の女子サッカーワールドカップでは本市出身の佐々木則夫監督率いるなでしこジャパンの優勝は市民だけでなく、日本中に大きな歓喜、感動と希望をもたらしました。その熱気に加速されたように、この夏も猛暑で美味しい西瓜は全国に発送されました。しかし、汚染稲わら問題で畜産農家には深刻な問題が生じております。議会と市当局が丸となり、この問題に取り組んでまいります。市民の皆様のご健勝を祈念し、就任のご挨拶といたします。

まっとうして参りたいと決意を新たにしております。

そのためにも、議会自ら、学習研鑽に励み、議会の自己改革力を高めて市民の思いに答えられた『かたち』を形成していくことが大切だと思っています。

議会と行政は車の両輪と言われます。互いに協力し合い、また牽制し合い、公正なる行政で市民が等しく市政の恩恵に浴されますことを基本に誠心誠意努めますのでよろしくお願いを申し上げます。就任のご挨拶といたします。

尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会

臨時会が8月11日、同組合議場で開かれました。臨時会では水道事業会計補正予算の専決処分と一般会計補正予算の2案件を原案どおり可決しました。

人事案件では、副議長に伊藤精一議員、衛生常任委員長(兼)議会運営副委員長に奥山格議員、水道常任副委員長に小関英子議員、議会運営委員に石塚ミツ子議員が選任されました。

北村山公立病院組合議会

7月12日、東根市議場で第2回定例会が開催され、平成22年度北村山公立病院組合事業決算認定について審議されました。

歳入は診療報酬の改定と、3市1町の負担金の増額で、事業収益全体は1億3千730万円の増となりました。歳出は、看護師の減員による給与費と企業債支払利息の減額により、差引662万円の純利益を計上し、10年ぶりに黒字決算となりました。

北村山地域の中核病院として、医師及び看護師の確保に努め、診療機能の効率化を図り、さらなる地域医療に貢献されるよう要望し、全会一致で原案どおり認定しました。

あしがき

7月の市議会選挙を控えた6月定例会は、議員一人ひとりがいづれもと違う緊張感にあふれた様相が議会中漂っているように思われました。笹原光政議員並びに小関常良議員が議会最終日に議員の勇退を表明しました。永年、議員として奉職された業績に対し敬意を表します。本当にご苦労様でした。今後とも、ご指導ご鞭撻をお願いいたします。

この度改選された市議会は、5人の新議員を迎えてスタートをきりました。市民の皆様と共に歩み、本市のさらなる発展に努力していきますので宜しくお願ひ申し上げます。

「市議会だより」も次回から、新しい編集委員によって発行されます。市民に親しまれる議会報に努めますので未永くご愛読いただければと思います。(五十嵐)

市議会だより編集委員

- ◎菅野 修一 ○笹原 光政
- 伊藤 精一 ○奥山 格
- 石塚ミツ子 加藤 克彦
- 五十嵐佳満

◎委員長 ○副委員長